

岩見沢市総合計画策定のための
まちづくり団体意識調査

結果報告書

平成 29 年 6 月
岩見沢市

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 調査項目	1
(4) 配布・回収状況	1
(5) 調査結果の見方	1
2. 調査結果	2
問1 団体の概要	2
問2 団体活動に関する課題や困りごと	3
問3 団体活動を充実させるうえで行政に期待する支援	4
問4 まちづくりに対するご意見・ご提案	5
問5 団体で取り組むことができる（できそうな・取り組みたい）活動	8
3. 調査票	10

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、新しい総合計画の策定に当たり、市内で活動する各種団体における日頃の活動状況や課題のほか、まちづくりに対するご意見を伺い、その意見等を計画に反映させることを目的として実施しました。

(2) 調査設計

- ①調査対象：市内でまちづくりに関する活動を行う各種団体
- ②調査期間：平成29年2月15日～平成29年3月9日
- ③調査方法：郵送による配布、FAXによる回答

(3) 調査項目

- ①団体の概要
- ②活動における課題や困りごと
- ③行政に期待する支援
- ④まちづくりに対する意見・提案
- ⑤まちづくりに関する今後の活動意向

(4) 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
68 団体	47 団体	69.1%

(5) 調査結果の見方

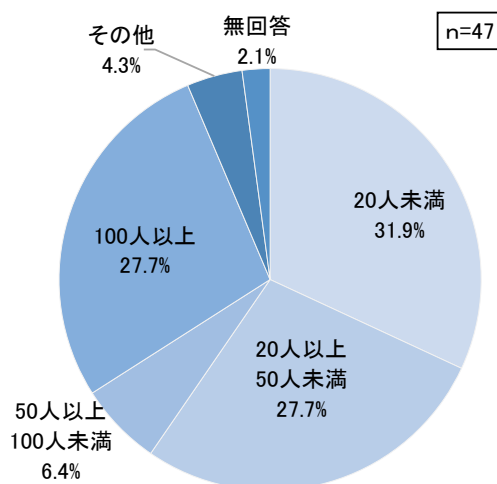
- ①回答結果は、回答者の構成比（百分率％）で表しています。
- ②百分率％は、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、選択肢の割合の合計が100%にならない場合があります。
- ③複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。

2. 調査結果

問1 貴団体の概要についてご回答ください。

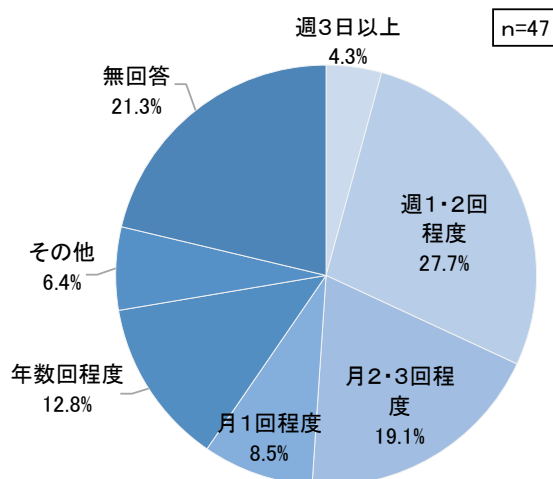
■ 団体名・会員数

項目	回答数	回答割合
20人未満	15	31.9%
20人以上50人未満	13	27.7%
50人以上100人未満	3	6.4%
100人以上	13	27.7%
その他	2	4.3%
無回答	1	2.1%
合計	47	100.0%



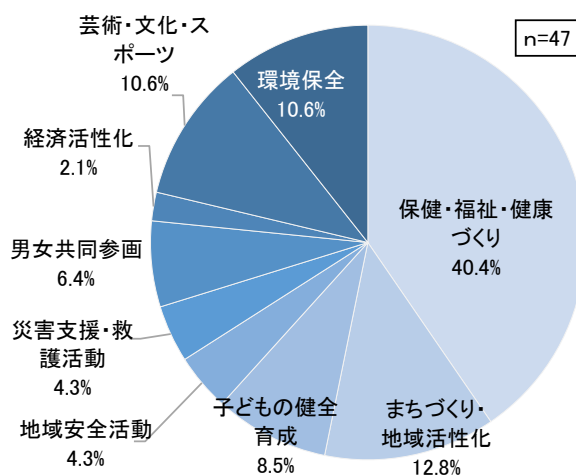
■ 活動頻度

項目	回答数	回答割合
週3日以上	2	4.3%
週1・2回程度	13	27.7%
月2・3回程度	9	19.1%
月1回程度	4	8.5%
年数回程度	6	12.8%
その他	3	6.4%
無回答	10	21.3%
合計	47	100.0%

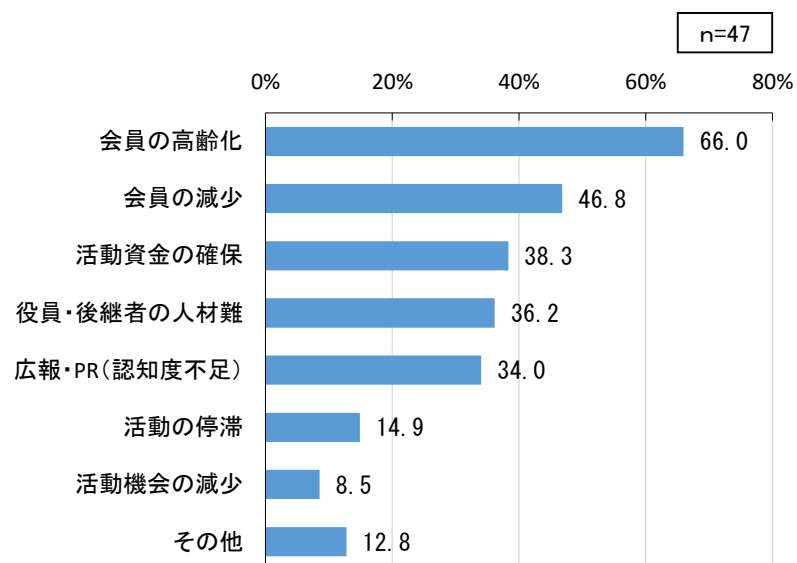


■ 活動分野

項目	回答数	回答割合
保健・福祉・健康づくり	19	40.4%
まちづくり・地域活性化	6	12.8%
子どもの健全育成	4	8.5%
地域安全活動	2	4.3%
災害支援・救護活動	2	4.3%
男女共同参画	3	6.4%
経済活性化	1	2.1%
芸術・文化・スポーツ	5	10.6%
環境保全	5	10.6%
合計	47	100.0%



問2 貴団体の活動に関して、現在どのような課題や困りごとがありますか。
 (3つまで〇)



【その他意見】

障がいについての理解促進と関心不足。

病院の病室及び入院患者の減少により、利用する人が少なくなっている現状。

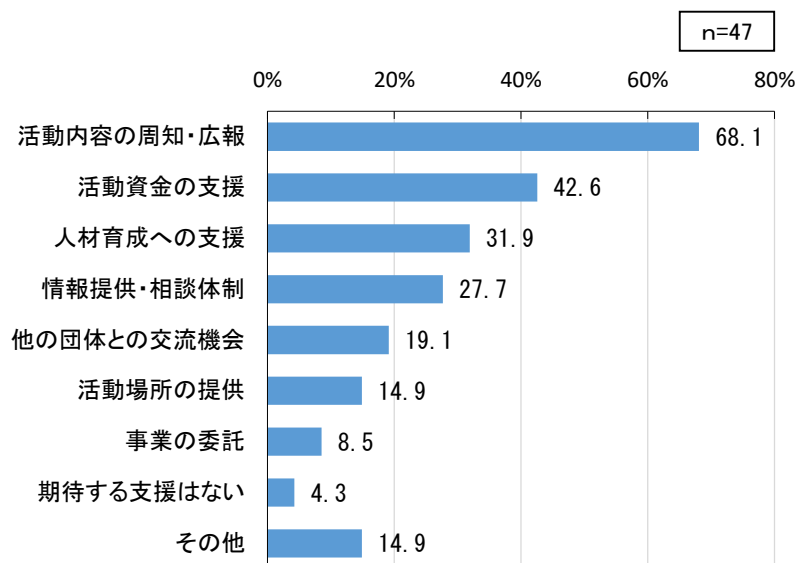
市内の会員より市外の会員が多いこと。

町会との連携。あり方を話し合う。

既刊資料等の適切な保管場所の確保。

活動に際し、知名度、PRが不足しており、岩見沢市や関係機関の後援をいただけると幸いである。

問3 貴団体の活動を充実させるうえで行政に期待する支援は何ですか。
 (3つまで〇)



【その他意見】

現状でも支援はいただいている。

イベントに際して準備する場所（厨房等）を是非作ってほしい。

場所（集う）の検討。

買わないまでも、足を運んでほしい。

既刊資料の保管庫貸与、広報いわみざわへの掲載スペース拡大、掲載依頼手続きの簡素化。

施設利用者が不公平感を抱くことから使用料の見直し。

問4 貴団体の立場から、まちづくりに対するご意見・ご提案がございましたらご記入ください。

■ 地域活動支援

（まちづくり活動の周知・理解促進）

- ・団体の存在を市民の方に知っていただきたい。ボランティア活動にご理解・ご支援いただきたい。
- ・時間に余裕のある方や活動意欲のある人に対して魅力あるわかりやすいPRを積極的に行い、気楽に参加、団体の活動内容を理解していただくことが必要かと思う。
- ・40代、50代～60代に対するボランティア精神の啓蒙活動が必要ではないか。
- ・会員や岩見沢市民以外にも活動内容をお知らせできれば活用・活動の幅が広がると思う。
- ・地域の良いところを発見・発信し、「帰ってきたい、古里にしたい」という想いを共有していくことが、地域住民による「まちづくり」につながると思う。

（組織運営支援・人材確保）

- ・サークル活動や地域での活動に多くの市民が参加できるような仕組み作りが必要ではないか。
- ・65歳まで働く環境ができたことから、サークル等への参加が少なく、だんだん高齢化しており、サークル等の存続が難しくなっている。少しでも若い方々に入っていただきたいと思う。
- ・他のサークル同様、市の広報誌に会員募集を掲載していただきたい。
- ・条例による認定NPO法人、指定NPO法人取得への支援を期待する。
- ・活動を実施するのに人がいないことや高齢化になり動けなくなっているため、実行部隊を無償で組織してほしい。
- ・一部を除き、どの団体も個々の団体の維持が精一杯で、それを拡大しまちづくりに結びつけるまでの状況になく、参加者を集めるのに苦慮しているのが現状ではないかと感じる。

（連携・ネットワーク体制）

- ・ボランティア団体と社協やボランティアセンターとの連携は取れているが、市の福祉課や町内会との連携が取れると活動を広げていけるように思われる。
- ・他団体ともっと交流出来るとよい。
- ・市内にはたくさんの同様の活動を行っているサークルがある。横のつながりができるとうれしい。
- ・多く講演・研修の機会がある中、終了後の取り組みとして、グループワークを提案する。それは自分のものにして、地域へも伝えられる効果があると思う。差別のない社会を願う。
- ・市からまちづくりに関連する施策等の情報提供があるとよい。
- ・個人情報関係上、情報提供のための送り先を知ることができない。

■ まちの活性化・交流の場の拡充

（中心市街地の活性化）

- ・駅前通り整備、4条通の整備を進める。
- ・個人の店の充実を図る。
- ・岩見沢複合駅舎で物品販売（フリーマーケット等）ができるようになると、駅を使用している活動が広がると思う。
- ・中心市街地に安い駐車場があると良い。

- ・中心市街地に買物公園のようなフリースペースを作って、イベントを開催できるような場所がほしい。
- ・商店街を統一して全体として商業振興、まちなか振興につなげてほしい。
- ・大型イベントの際、中心市街地から「マチにお金が落ちない」との声が聞こえる。マチとイベント会場をつなぐタウンマネージャー的人材が必要かと思う。
- ・今年度中心市街地における女性 100 人のアンケートをもとに提言書を作成中。

（経済の活性化・就労の場の確保）

- ・市外からの外貨を稼いでいる企業が割りと多く、地元商圈に頼らない体質がある程度浸透していると思う。いわゆる地産外商の企業の育成が必要ではないか。
- ・当市らしいユニークな商品の開発などに対する市からの支援や表彰及び推奨制度があると、より活性化と目標意識を持つのではないか。
- ・若い人が働ける場所を多く作ってほしい。（企業誘致）

（市民の交流機会の拡充）

- ・全市民が気軽に参加できるスポーツ大会を地域対抗戦という形で開催してはどうか。
- ・岩見沢駅前通りを中心に明るくすることで、様々な世代が集い交流する計画とする。

■誰もが地域で安心して暮らせる環境づくり

（子ども・子育て支援）

- ・若いお母さんの生活環境の安定。加えて義務教育期間の子どもの生活状態と気持ちの安定。登校拒否等で進学のを閉ざされ悩んでいる状況を相談される。進学後も費用の面で心配が絶えない。
- ・子育て、孫育ての講演会を親子広場や小・中・高校または、保育所・幼稚園等、開催してほしい。
- ・子どもたちが本と親しむ機会が増えることを願っている。学生、生徒や図書館を利用している子どもたちのみでなく、年齢を問わず本がすぐ身近にあるまちになると良いと思う。

（高齢者・障がい者支援）

- ・人通りのある通りやバス停のところにちょっと座れたり、荷物を置けたりする台やイスがあると年寄りには助かる。
- ・障がいを抱えていても、適性に応じて人と関わり、働くことができる就労の場の確保や企業の理解があるとよい。
- ・街中の空き施設を利用し、いつでも集えるサロン形式の場の設置。
- ・病院から地域へと移行促進の中で居住の場、グループホーム等の設置。

（地域福祉）

- ・「住みよいまち」のためには、一人一人が、孤立することなく誰かと繋がっていると思えることが重要なことと考える。
- ・地域や家庭での人間関係や子育て、老後の不安等々、悩みを抱える人たちが心を開いて話ができて、それに丁寧に耳を傾けて聴いてくれる相手がいることが大切。ただ、悩みを抱える人たちは、特に高齢であったり生活に困窮していたりする方たちは自分から積極的に支援を求めようとするのは少なく、とかく孤立しがちである。一人一人を大切にするためには、他の担当機関とも連携を密にしながら、相談を待つだけでなく声をかけることができる仕組みを工夫することが必要と思う。

■環境保全

- ・環境意識を育てつつ、緑豊かな美しい岩見沢になってほしい。
- ・大正池修復後、周辺の自然植生回復過程で、外来生物、特にオオハンゴンソウ等の特定外来生物の侵入は必至なので、それらが定着・群生する以前の最初の数年間は特に防除を徹底すべきである。
- ・市内・近郊の緑地、公園、樹林、街路樹等の市民への紹介・周知を行うことが望ましい。

■その他

（男女共同参画）

- ・男女共同参画社会の実現化をまちづくりの一環に入れていただくと、男女ともに社会に対する意識が変わるかと思う。

（防災・救急）

- ・災害時における避難場所・避難所の充実。
- ・安全・安心が第一。

問5 前問のご提案に関連して、貴団体で取り組むことができる（できそうな・取り組みたい）活動があればご記入ください。

■ 地域活動支援

（まちづくり活動の周知・理解促進）

- ・実践でふれ合う機会を拡充する。
- ・地域のサロンや町内会などへ活動を広げていけると良いと思っている。
- ・行政等各種方面への働きかけ、協力を得ながら地域に出向き、参加者と直に接しながら、「参加してよかった」「楽しかった」「また参加したい」という声をもらいながら、魅力ある地道な活動の拡大を今後とも図っていく。

（組織運営支援・人材確保）

- ・活動の大切さに対する意識を醸成しつつ人材を育成など、できるだけ活動を行う。

（連携・ネットワーク体制）

- ・まちづくりをお手伝いすることがあれば、関連する団体に話してみる。

■ まちの活性化・交流の場の拡充

（中心市街地の活性化）

- ・街なかで買物をして活性化を図りたい。
- ・街なかのにぎわいに協力したい。
- ・イベントを開催し、集客を多くしたい。
- ・場所の確保が可能であるならば、定期市を開催する。まちなか商店街（仮称）のプランニングもする。
- ・芸術文化的「人づくり」「まちづくり」をこれからもトライしていく。

（経済の活性化・就労の場の確保）

- ・当市で作られている生産品についての理解を深めていただく機会を継続的に設けることにより、市民に対する認知度を高めたい。
- ・自然体験学習、農業体験学習、アグリツーリズム的な観光分野に少しずつ取り組んでみたい。

（市民の交流機会の拡充）

- ・団体が関わることができるイベント等の内容であれば、お手伝いは可能。

■ 誰もが地域で安心して暮らせる環境づくり

（子ども・子育て支援）

- ・母子家庭の親で企業に採用していただける人材の育成ができればと考える。
- ・各講演、講座へ家庭教育の講師を依頼して、ともに会場で地域の方へ寄り添ったり、スタッフとして（託児は別）お世話を伺うことが可能。
- ・家庭教育の重要性を広めていけたらと常に考えている。

（高齢者・障がい者支援）

- ・サロン形式の場の設置においては、ともに集えるよう参加協力は惜しまない。

（地域福祉）

- ・メンバーの今以上の意識改革を図るとともに、更に研鑽を積んで、地域貢献のために役立ちたい。
- ・日々研修を重ねながら、みんなで歌う、話し相手になる、本を読み合うなど、何らかの貢献ができればと願っている。

■環境保全

- ・子どもたちへの環境教育（・農作業体験・堆肥づくり体験・環境関連の絵本読みきかせなど）
- ・特定外来生物侵入の防除については、協力して取り組み可能。
- ・緑地、公園、樹林、街路樹等の市民への紹介・周知に向けて、「街路樹めぐり」、「林内散策ツアー」などを実施する。

■その他

（男女共同参画）

- ・委員に町連や商工会議所の役員を2名ずつ入れることで、現状より内容が変わっていくかと思う。

（防災・救急）

- ・万が一の救急の応急処置・対応

3. 調査票

まちづくり団体意識調査 回答票													
問1 貴団体の概要についてご回答ください。													
団体名													
回答者職氏名		会員数	_____人										
主な活動内容	活動頻度【年・月・週 _____日程度】												
問2 貴団体の活動に関して、現在どのような課題や困りごとがありますか。（3つまで○）													
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1 会員の減少</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">2 会員の高齢化</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 役員・後継者の人材難</td> <td style="padding: 5px;">4 活動の停滞</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">5 活動資金の確保</td> <td style="padding: 5px;">6 活動機会の減少</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">7 広報・PR（認知不足）</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">8 その他（具体的に： _____）</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table>				1 会員の減少	2 会員の高齢化	3 役員・後継者の人材難	4 活動の停滞	5 活動資金の確保	6 活動機会の減少	7 広報・PR（認知不足）		8 その他（具体的に： _____）	
1 会員の減少	2 会員の高齢化												
3 役員・後継者の人材難	4 活動の停滞												
5 活動資金の確保	6 活動機会の減少												
7 広報・PR（認知不足）													
8 その他（具体的に： _____）													
問3 貴団体の活動を充実させるうえで行政に期待する支援は何ですか。（3つまで○）													
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1 活動資金の支援</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">2 活動場所の提供</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 活動内容の周知・広報</td> <td style="padding: 5px;">4 人材育成への支援</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">5 他の団体との交流機会</td> <td style="padding: 5px;">6 情報提供・相談体制</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">7 事業の委託</td> <td style="padding: 5px;">8 期待する支援はない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">9 その他（具体的に： _____）</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table>				1 活動資金の支援	2 活動場所の提供	3 活動内容の周知・広報	4 人材育成への支援	5 他の団体との交流機会	6 情報提供・相談体制	7 事業の委託	8 期待する支援はない	9 その他（具体的に： _____）	
1 活動資金の支援	2 活動場所の提供												
3 活動内容の周知・広報	4 人材育成への支援												
5 他の団体との交流機会	6 情報提供・相談体制												
7 事業の委託	8 期待する支援はない												
9 その他（具体的に： _____）													
問4 貴団体の立場から、まちづくりに対するご意見・ご提案がございましたらご記入ください。													
問5 前問のご提案に関連して、貴団体で取り組むことができる（できそうな・取り組みたい）活動があればご記入ください。													
ご協力ありがとうございました。													

**岩見沢市総合計画策定のための
まちづくり団体意識調査結果報告書**

平成 29 年 6 月

岩見沢市企画財政部企画室

〒068-8686

北海道岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1 番 1 号

電話 0126-23-4111 (代表)

FAX 0126-23-9977 (代表)

